

第 24 回建設業経理士検定試験 2 級試験問題

< 第 4 問 >

問 2 次の<資料>により、解答用紙の工事別原価計算表を完成しなさい。

また、工事間接費配賦差異の月末残高を計算しなさい。

なお、その残高が借方の場合は「A」、貸方の場合は「B」を、解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

<資料>

1. 当月は、繰越工事である X 工事、Y 工事及び当月に着工した Z 工事を施工し、月末には X 工事と Z 工事が完成した。
2. 前月から繰り越した工事原価に関する各勘定の前月繰越高は、次のとおりである。

(1) 未成工事支出金 (単位：円)

工事番号	X 工事	Y 工事
材料費	389,000	501,000
労務費	133,000	164,000
外注費	542,000	623,000
経費	125,000	142,000

(2) 工事間接費配賦差異 ¥9,500 (借方残高)

(注) 工事間接費配賦差異は月次においては繰り越すこととしている。

3. 労務費に関するデータ

- (1) 労務費計算は予定賃率を用いており、当会計期間の予定賃率は 1 時間当たり ¥1,000 である。

(2) 当月の直接作業時間

X 工事 52 時間 Y 工事 64 時間 Z 工事 115 時間

4. 当月発生した工事直接費 (単位：円)

工事番号	X 工事	Y 工事	Z 工事
材料費	76,000	116,000	281,000
労務費	(各自計算)	(各自計算)	(各自計算)
外注費	127,000	228,000	458,000
直接経費	43,000	62,000	94,000

5. 工事間接費の配賦方法と実際発生額

- (1) 工事間接費については直接原価基準による予定配賦法を採用している。
- (2) 当会計期間の直接原価の総発生見込額は ¥20,600,000 である。
- (3) 当会計期間の工事間接費予算額は ¥721,000 である。
- (4) 工事間接費の当月実際発生額は ¥58,000 である。
- (5) 工事間接費はすべて経費である。

※ 次ページより解説があります。

< 第4問 問2の解説>

○月初未成工事原価

資料2より、

$$X \text{ 工事} : 389,000 + 133,000 + 542,000 + 125,000 = 1,189,000$$

$$Y \text{ 工事} : 501,000 + 164,000 + 623,000 + 142,000 = 1,430,000$$

○当月発生工事原価の材料費、外注費、直接経費

資料4より、そのままです。

○当月発生工事原価の労務費

資料3より、

$$X \text{ 工事} : ¥1,000 \times 52 \text{ 時間} = ¥52,000$$

$$Y \text{ 工事} : ¥1,000 \times 64 \text{ 時間} = ¥64,000$$

$$Z \text{ 工事} : ¥1,000 \times 115 \text{ 時間} = ¥115,000$$

○工事間接費

$$\begin{aligned} \text{予定配賦率} &= \text{工事間接費予算額} \div \text{直接原価総発生見込額} \\ &= 721,000 \div 20,600,000 \\ &= 0.035 \end{aligned}$$

$$\text{配賦額} = \text{当月発生直接原価} \times \text{予定配賦率}$$

$$X \text{ 工事} = (76,000 + 52,000 + 127,000 + 43,000) \times 0.035 = 10,430$$

$$Y \text{ 工事} = (116,000 + 64,000 + 228,000 + 62,000) \times 0.035 = 16,450$$

$$Z \text{ 工事} = (281,000 + 115,000 + 458,000 + 94,000) \times 0.035 = 33,180$$

○工事間接費配賦差異月末残高

以下の図に当てはめて考えます。

工事間接費	
実際	予定

資料 2（2）より、

工事間接費	
9,500	

資料 5（4）より、

工事間接費	
9,500	
58,000	

予定配賦された工事間接費は、
 $10,430 + 16,450 + 33,180 = 60,060$ だから、

工事間接費	
9,500	60,060
58,000	

借方合計 = 9,500 + 58,000 = 67,500

借方合計 - 貸方合計 = 67,500 - 60,060 = 7,440

従って、¥7,440 の借方残高となります。